

平安京の故地東寺界限散策と

自然観察活動報告 3班

パンフレットから 鶯の図と竹林の図

現在目にすることができる京都市は、豊臣秀吉による都市改造の影響で、創建当時の平安京の名残はほとんどありません。

創建当時の平安京のメインストリートである朱雀大路の南端には、平安京の表玄関である羅城門があり、その両脇には、国家鎮護のための二大官寺である東寺と西寺がありました。東寺、西寺と2基の50mを越える五重塔が聳える風景は、さぞかし壮観だったものと思われます。そんなことを想像しながら東寺界限を散策しました。

現在は、弘法大師ゆかりの東寺が当時に近い形で伽藍を伝え、国宝の五重塔を京のシンボルとして世界文化遺産に登録され、偉容を誇っていました。秋季特別公開の金堂・講堂・観智院を拝観後、梅小路公園「朱雀の庭」「緑の館」にて、植物観察と「藤袴と和の花展」を楽しみました。

【実施日】 令和元年10月4日（金）晴れ

【参加者】 77人 【参加費】 600円

【行程】 西大路駅 10:00⇒YOUYOU パーク 10:10⇒西寺跡（10:25～10:35）⇒羅城門跡（10:50～11:00）⇒おたべ（11:20～11:50）⇒比永城公園＜昼食・班会議＞（12:10～13:15）⇒東寺拝観「金堂・講堂・観智院」（13:30～14:30）⇒朱雀の庭・いのちの庭（14:45～15:45）解散⇒京都駅まで引率



史跡西寺跡 なぜ衰退

東寺の空海に、雨乞い合戦で負けた。?? 湿地帯で、人は左京区に移った。○ 東寺は民営化。官寺の西寺は時代遅れになった。◎



唐橋羅城門公園。かつてここに正面33m・奥行8mの、巨大な門、「平安京」の正面玄関・羅城門が聳えていた。想像力が要りますね。



おたべ小路で、製造ラインをガラス越しに見学。できたてのおたべのうれしい試食。「一人一個で～す！」



東寺

国宝 五重塔、金堂（拝観）



観智院 真言宗の勧学院。大学の研究室のようなところ。拝観はできるが撮影はNG。トホホ



姫赤立羽と藤袴。ほんのり甘くて爽やかな香りですね♪

二つタイミングの良いことがありました。国宝 観智院の秋期特別公開で、吉岡一門の目から隠れていた宮本武蔵によって描かれた、床の間の「鶯の図」と、襖絵の「竹林の図」を見られたこと。万葉の花・令和の花 藤袴に出会えたことです。「初春の令月にして、気淑（よ）く風和らぎ、梅は鏡前の粉を披（ひら）き、蘭は珮後（はいご）の香を薫（くゆ）らす」。令和の出典は万葉集からを再考させられました。ちなみに蘭は藤袴とのこと。桜餅の匂いでした。